

奈良県の労働市場の動き（令和3年8月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は1.18倍で、前月を0.05ポイント下回りました。
- 全国は1.14倍で、奈良県は0.04ポイント上回りました。
- 近畿ブロックは1.06倍で、奈良県は0.12ポイント上回りました。
- 有効求人数（季節調整値）は20,995人で、前月より2.1%の減少となり2ヶ月ぶりの減少となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は17,765人で、前月より2.2%の増加となり2ヶ月連続の増加となりました。
- 新規求人倍率（季節調整値）は1.76倍で、前月を0.22ポイント下回りました。
- 新規求人数（季節調整値）は7,162人で、前月より8.8%の減少となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「製造業」を除く各業種で減少しました。

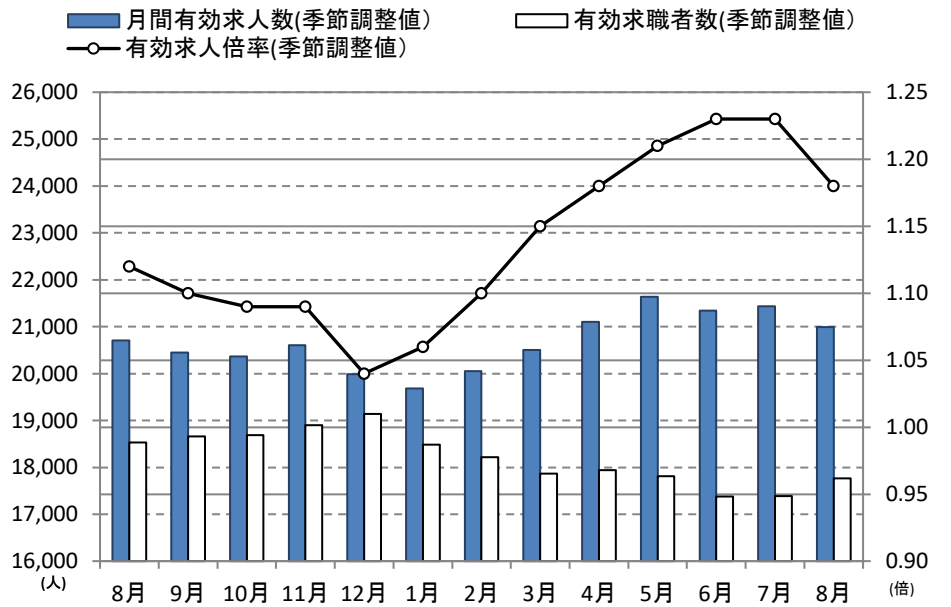
建設業（前年同月比1.7%減）、
 製造業（同24.5%増）、
 運輸業、郵便業（同5.1%減）、
 卸売業、小売業（同6.6%減）、
 宿泊業、飲食サービス業（同39.1%減）、
 医療、福祉（同1.8%減）、
 サービス業（他に分類されないもの）（同6.8%減）

- 新規求人数（原数値）7,299人のうちパート求人は3,313人でした。パート求人の比率は45.4%でした。
- 新規求職者（季節調整値）は、4,076人で前月より2.7%の増加となりました。
- 雇用保険受給資格決定件数は1,013件でした。
前年同月比で7.6%の減少となりました。
※雇用保険受給資格決定件数は速報値であり、修正があり得ます。
- 雇用保険受給者実人員は4,756人でした。
前年同月比で7.0%の減少となりました。

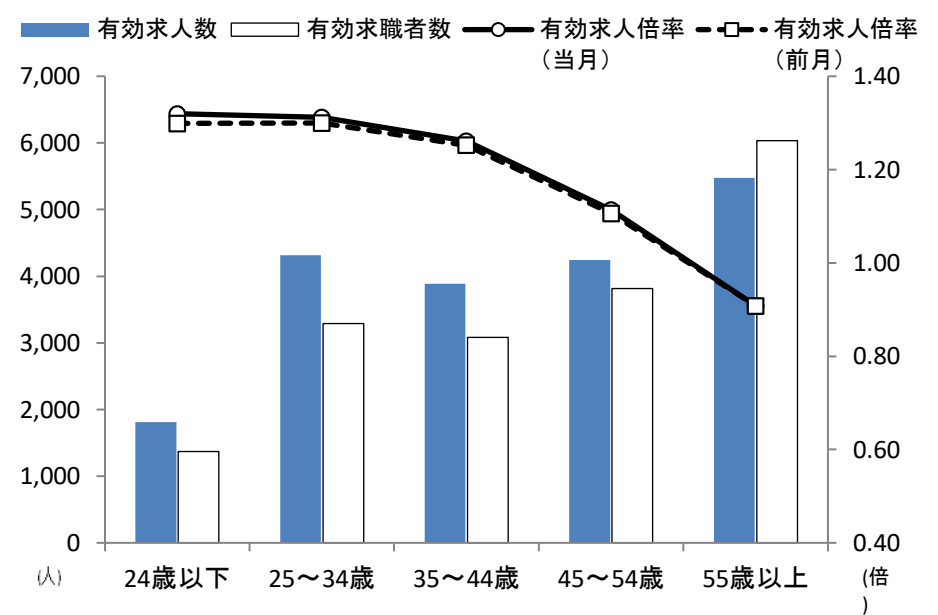
（注）・求人倍率等（季節調整値）については、季節調整替えが行われ、令和2年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）により改訂。

・求人倍率や求人数には、県内のハローワークが受理した求人数を用いた「受理地別」、実際の就業地が県内である求人数を用いた「就業地別」があり、本資料においては「受理地別」を用いています。

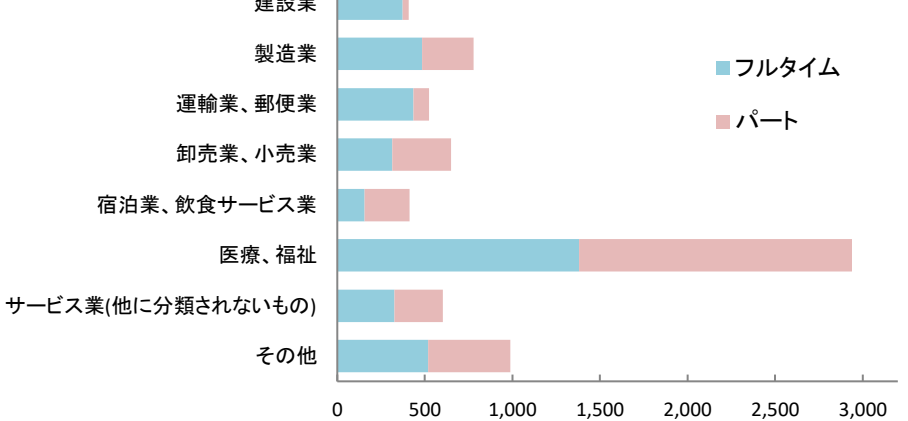
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き（パートを含む）



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況（常用・パートを含む）



新規求人数（単位：人）



新規求人の産業別割合

